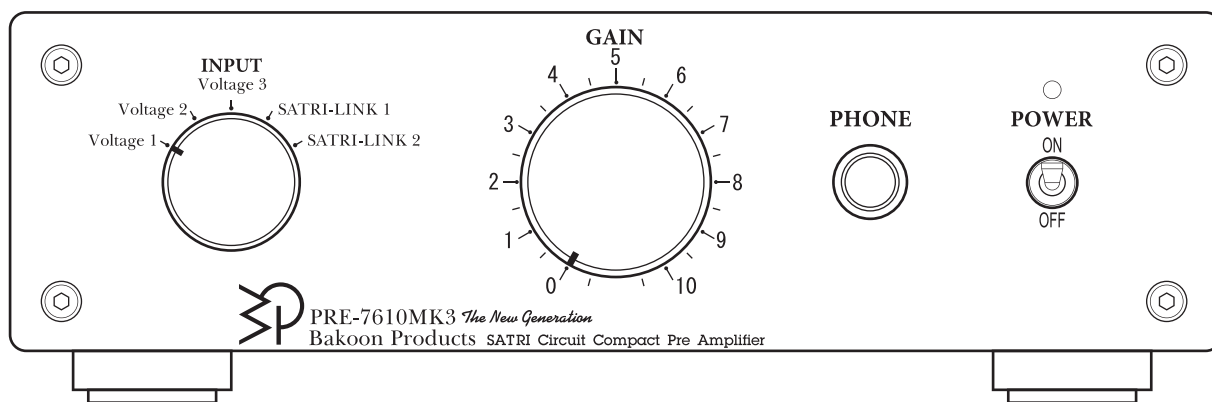
SATRI Circuit Compact Pre Amplifier
PRE-7610MK3

取扱説明書

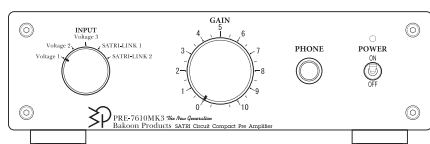
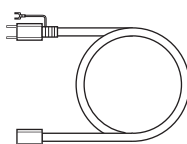
Owner's Manual

Rev.2.0

はじめに

このたびは弊社のプリアンプ PRE-7610MK3 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
PRE-7610 は、弊社製のメインアンプと組み合わせて使用することを前提に設計・開発されていますが、他社のパワーアンプとの組み合わせでも良好な音質を得ることが出来ます。
本機には３系統の電圧入力 (Voltage Input) と２系統の SATRI-LINK 入力が搭載されており､様々なミュージックソースを接続できます。また、弊社製パワーアンプと SATRI-LINK で接続することにより、信号伝送のロスが非常に少ない高精細な音楽再生が可能になります。
ご使用前に本書を一読され、より良いミュージックライフをお送り下さい。

付属品

パッケージの中には本体及び以下の物が入っています。万が一欠品があった場合は販売店または弊社までご連絡下さい。

PRE-7610MK3 本体

電源ケーブル

取扱説明書（本書）

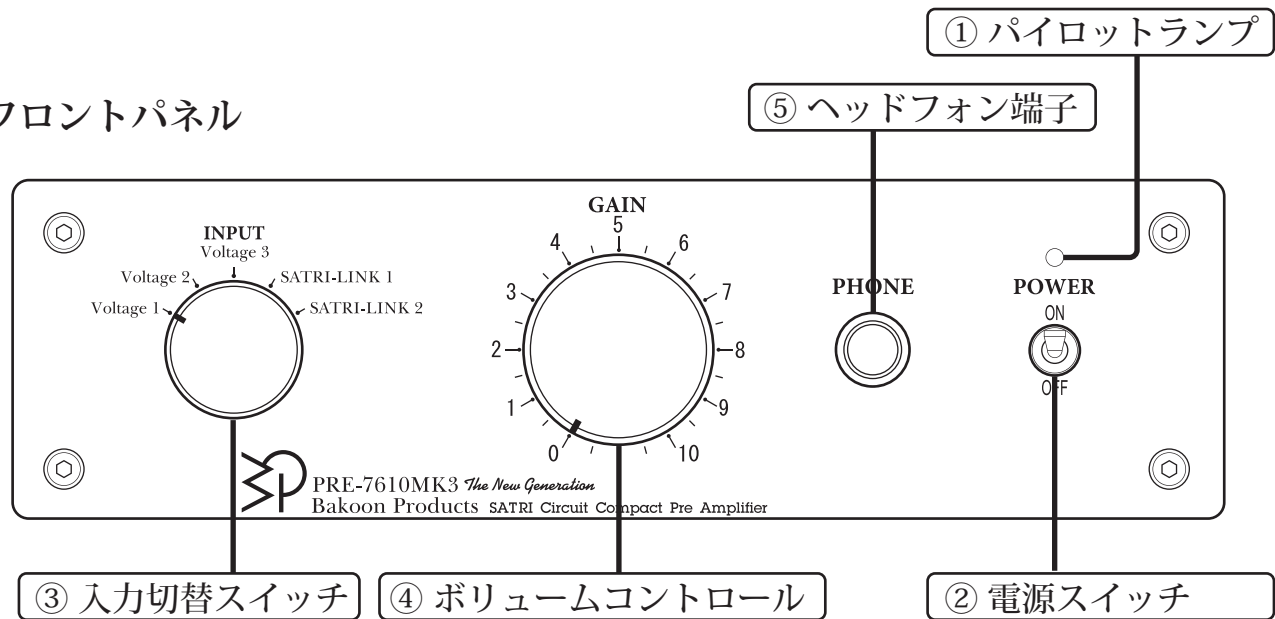
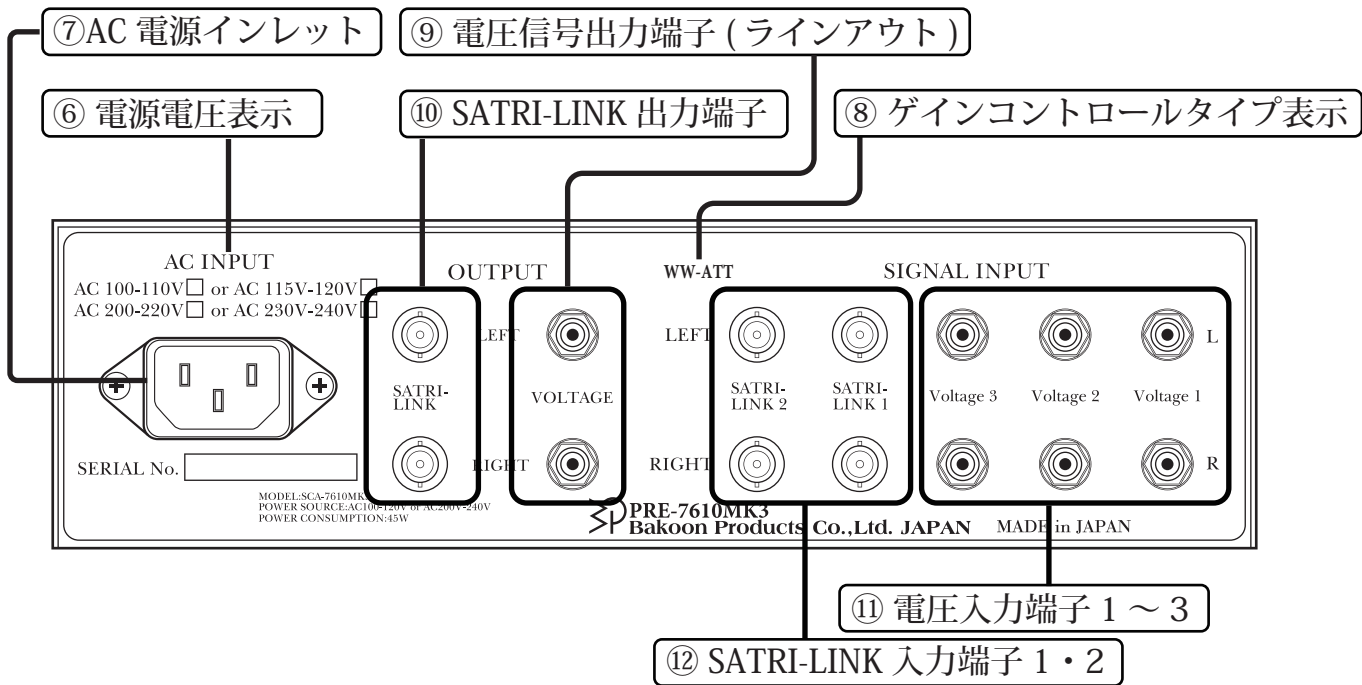
ご使用になる前に知って頂きたいこと

本製品に使用されている SATRI 回路の特徴として、電源を入れてからバイアス電流が固定されるまでおよそ 5 分の時間を要します。その間、音が出なかったり音に歪みが生じますが、製品の故障ではありません。
電源を入れてから 5 分間の間は、ボリュームを絞っておいてください。
PRE-7610MK3 には有機半導体コンデンサを多数使用しています。そのため、製品本来の音質になるまでには 100 時間程度のエージング（通電）が必要になります。（→ P10：エージングについて）

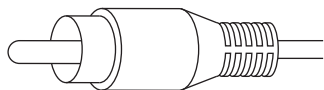
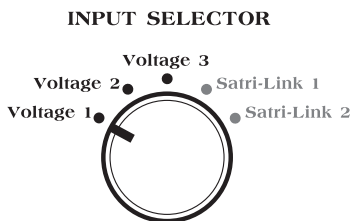
安全にご使用頂くために

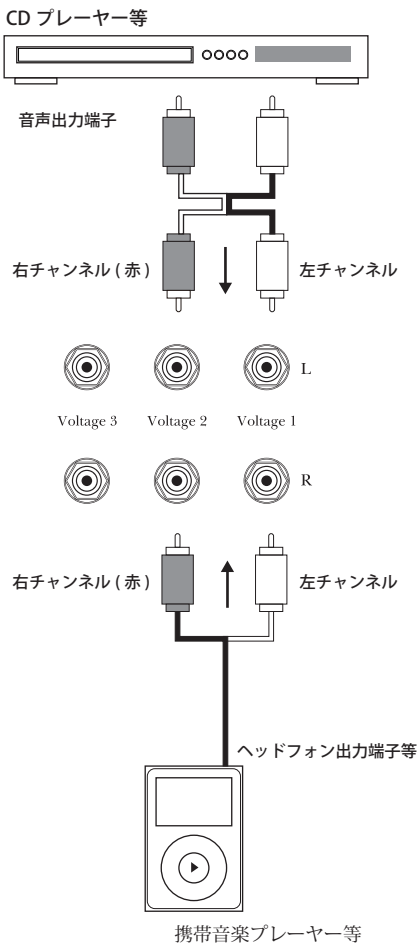
事故や故障を防ぐため、以下のことを守ってご使用下さい。
・高温多湿の場所での使用は避けて下さい。
・水に濡らさないで下さい。感電や火災の原因となります。
・電源ケーブルはかならず付属の物をご使用下さい。
・感電事故防止のため、アース端子をアースに接続して下さい。
・オーディオ機器を接続する際は、必ず電源を切るかボリュームを絞った状態で行って下さい。
・カバーを外すなどの分解を行わないで下さい。故障や感電事故につながる場合があります。
・本機の上に重い物を乗せたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。
・お客様自身での改造行為は弊社の保証対象外となる場合があります。

各部名称

フロントパネル

リアパネル

オーディオ機器の接続

必ず本機の電源スイッチを OFF にし、ボリュームコントロールを 0 の位置まで回してから接続作業を行って下さい。

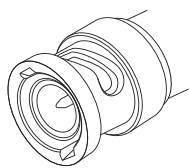
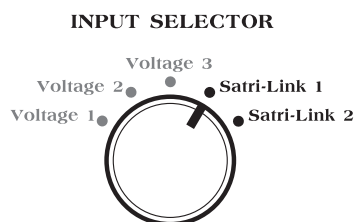
オーディオ機器の接続（電圧入力）

RCA ピンプラグ（例）

電圧入力端子には、市販の RCA ピンプラグを使ってオーディオ機器を接続します。一般的なライン出力を備えた機器を接続することができます。
電圧入力は 3 系統あり、それぞれに別の機器を接続できます。
接続したオーディオ機器の切り替えは、前面の入力切り替えスイッチ（③）で行います。
入力切り替えスイッチ（③）の Voltage 1 ～ 3 が背面の電圧入力端子 1 ～ 3（Voltage Input 1 ～ 3)（⑪）に対応しています。

接続例

接続の際、左右のチャンネルを間違えないようにご注意下さい。本機の入力端子へは、上段に左チャンネル、下段に右チャンネルを接続して下さい。
一般的に、RCA ピンプラグの右チャンネルには赤、左チャンネルには白または黒の印がついています。また、本機の入力端子にも、右チャンネルは赤いライン、左チャンネルには黒いラインで印が付いています。

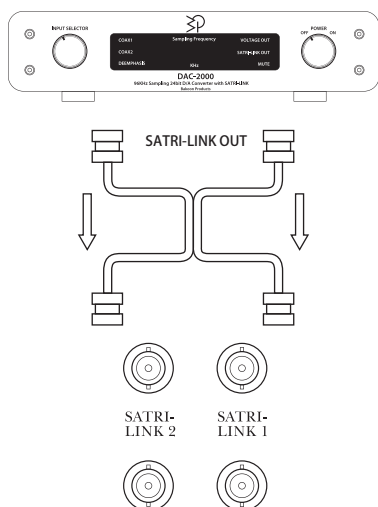
音楽プレーヤーのヘッドフォン出力から接続する場合は、プレーヤーの音量を適切に調整し、最終的なボリュームの調整は本機で行って下さい。
アクセサリなどを利用してライン出力が使用できる場合はそちらでのご使用をお勧め致します。

SATRI-LINK 接続

BNC プラグ（例）

INPUT SELECTOR

SATRI-LINK とは、弊社独自のオーディオ信号伝送方式です。一般的なライン接続では、オーディオ信号を電圧の変動で伝送しますが、
SATRI-LINK の場合は電流の変動で伝送します。電流による信号伝送の特性として、接続された機器間の伝送ロスが少なく、より精密・正確にオーディオ信号を送ることができ、音質も向上します。
本機の SATRI-LINK 入力には、弊社製の D/A コンバータやフォノイコライザーの SATRI-LINK 出力を接続できます。コネクタ形状は電圧入力との誤接続防止のため、BNC コネクタを採用しています。
本機には 2 系統の SATRI-LINK 入力を備えています。
入力切り替えスイッチ（③）の SATRI-LINK 1 および SATRI-LINK 2 が背面の SATRI-LINK 1・2（⑫）に対応しています。

接続例

弊社製 D/A コンバータ (DAC-2000 等)

接続の際、左右チャンネルを間違えないようご注意下さい。
SATRI-LINK 接続用のケーブルは同梱しておりませんので、購入を希望される方は弊社またはお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

ご注意下さい

SATRI-LINK 入力端子には、必ず弊社製品の SATRI-LINK 出力と専用ケーブルで接続して下さい。
RCA-BNC 変換プラグなどを使用して電圧信号を SATRI-LINK 端子に入力することは絶対に避けて下さい。
アンプやスピーカーに回復不能な障害が発生する恐れがあります。
同様に、SATRI-LINK 出力を変換プラグなどを利用して電圧入力に接続することも絶対に避けて下さい。
誤接続による故障は保証の対象外となり、有償修理となる場合があります。

メインアンプへの接続

必ず本機及び接続するメインアンプの電源を切り、ボリュームを絞った状態で接続作業を行って下さい。

一般のメインアンプへの接続

VOLTAGE

SATRI-LINK 入力端子を持たない弊社製メインアンプや他社製メインアンプと接続する場合は、電圧信号出力端子（⑨）とメインアンプの外部入力端子を RCA ピンプラグを使用して接続します。

※メインアンプの外部入力端子については、お使いのアンプの取扱説明書でご確認下さい。

接続例

CD プレーヤー等

ゲーム機・DVD プレーヤー等

ヘッドフォンまたはライン出力端子

音声出力端子

フロント L/R 出力端子 (※)

携帯音楽プレーヤー等

電圧入力端子（⑪）

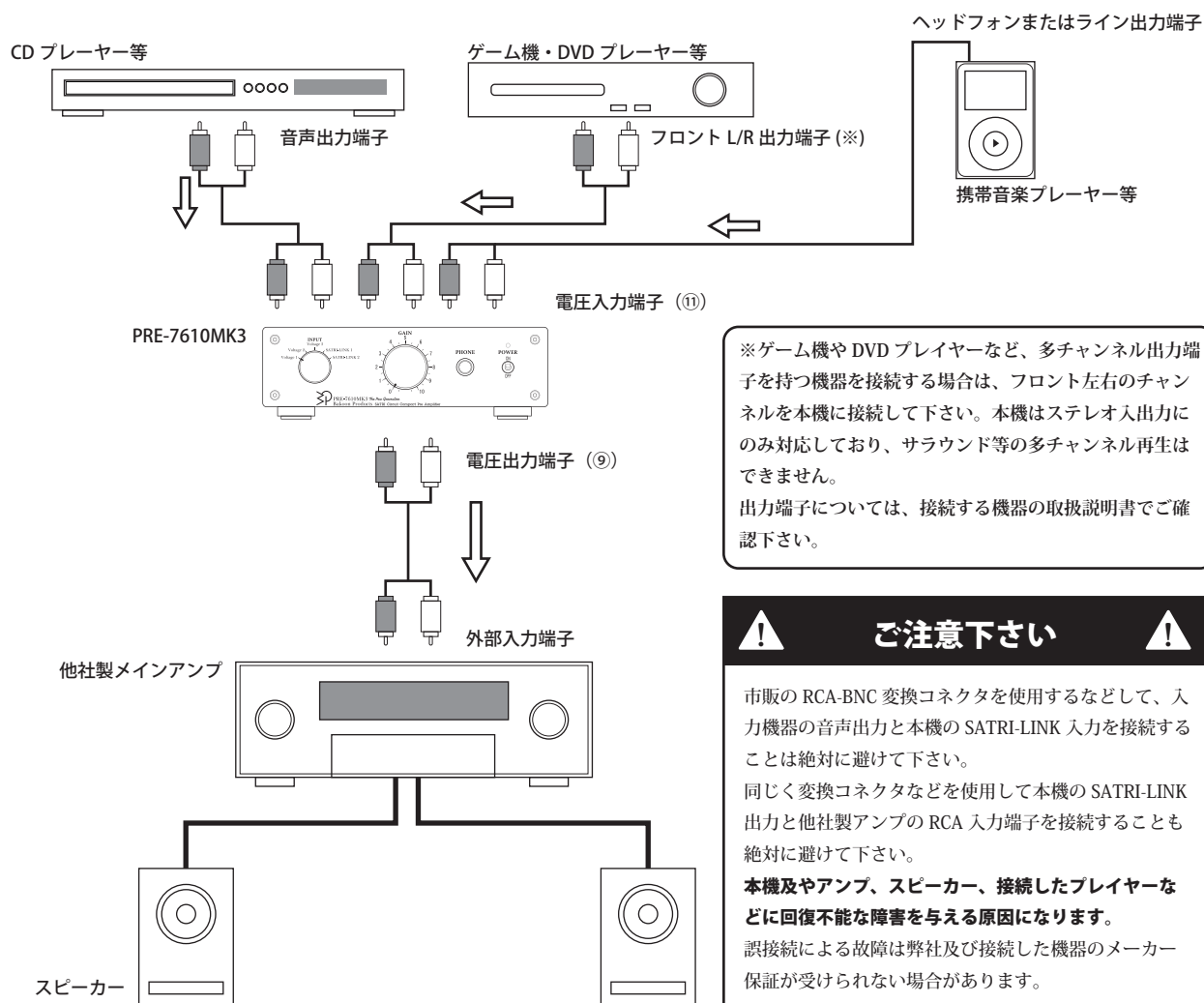
PRE-7610MK3

電圧出力端子（⑨）

外部入力端子

他社製メインアンプ

スピーカー

※ゲーム機や DVD プレイヤーなど、多チャンネル出力端子を持つ機器を接続する場合は、フロント左右のチャンネルを本機に接続して下さい。本機はステレオ入出力にのみ対応しており、サラウンド等の多チャンネル再生はできません。
出力端子については、接続する機器の取扱説明書でご確認下さい。

ご注意下さい

市販の RCA-BNC 変換コネクタを使用するなどして、入力機器の音声出力と本機の SATRI-LINK 入力を接続することは絶対に避けて下さい。
同じく変換コネクタなどを使用して本機の SATRI-LINK 出力と他社製アンプの RCA 入力端子を接続することも絶対に避けて下さい。
本機及やアンプ、スピーカー、接続したプレイヤーなどに回復不能な障害を与える原因になります。
誤接続による故障は弊社及び接続した機器のメーカー保証が受けられない場合があります。

SATRI-LINK 接続

SATRI-LINK

弊社製の SATRI-LINK 入力端子を持つアンプと接続する場合は、本機の SATRI-LINK 出力端子（⑩）とアンプ側の SATRI-LINK 入力端子を専用ケーブルで接続します。専用ケーブルがない場合は、電圧出力端子（⑪）とアンプ側の電圧入力端子を RCA ケーブルで接続することも出来ます。

SATRI-LINK で接続すると、電圧接続時に比べてオーディオ信号の伝送ロスが少ない、精細で正確な再生が可能となります。

SATRI-LINK で接続可能な弊社製アンプは以下の通りです。（2011 年 7 月現在の現行製品）

・SCA-7512 (コンパクトパワーアンプ)
・AMP-5513MK3 (ステレオパワーアンプ)
・SHP-5516M (モノラルパワーアンプ)

これに加え、生産を終了した弊社製アンプでも、SATRI-LINK 入力を持つアンプが接続可能です。詳しくは弊社 Web サイトをご覧下さい。(アドレスは裏表紙に記載しています）

接続例

SATRI-LINK でのシステム構成例です。

弊社製 D/A コンバーター

CD プレーヤー等

デジタル接続

SATRI-LINK 出力端子

SATRI-LINK 入力端子 (⑫)

PRE-7610MK3

SATRI-LINK 出力端子 (⑩)

SHP-5516M(2 台構成)

SATRI-LINK 入力端子

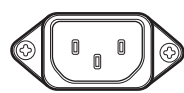
SATRI-LINK 入力端子

スピーカー

通常の構成では、モノラルアンプ (SHP-5516M) のボリュームコントロールは左右チャンネルを別個に調整する必要がありますが、PRE-7610MK3 を使用することにより、PRE-7610MK3 のボリュームコントロールで 2 台同時に調整することが可能になります。
また、全てのオーディオ信号を SATRI-LINK で伝送するため、伝送ロスの少ない、正確・精密なオーディオ再生が可能になります。
SATRI-LINK 用のケーブルは同梱されておりませんので、購入を希望される場合は弊社までお問い合わせ下さい。

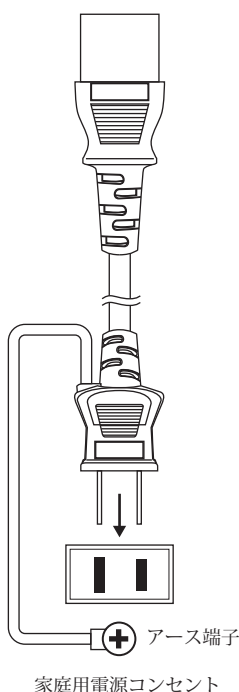
電源の接続

電源ケーブルを接続する前に、必ず本機の電源スイッチが OFF になっていることをご確認下さい。

電源ケーブルの接続

本体背面の AC インレット（⑦）に、付属の電源ケーブルを接続します。
その際、電源電圧表示部（⑥）に、お使いの地域に合った電圧に印が付いていることを確認して下さい。

AC INPUT
AC 100-110V■ or AC 115V-120V□
AC 200-220V□ or AC 230V-240V□

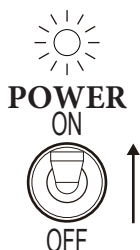
電源電圧表示について

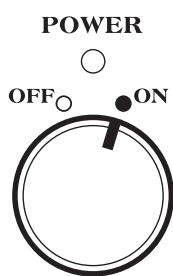
日本国内仕様の製品では、AC 100-110V に赤いシールで表示されています。それ以外の電圧にマークがある場合は、日本国外向けの製品となります。お使いの地域と電圧表示が一致していることをご確認下さい。
万が一、お使いの電源と電圧表示部の表示が一致しない場合は、コンセントに繋がず、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

家庭用のコンセントに電源ケーブルを接続します。
接続の際は、電源スイッチ（②）が OFF の状態であることを今一度ご確認下さい。

※コンセントにアース端子がない場合、接続しなくても動作します。
※アース端子がある場合、接続するとノイズの低減による音質向上及び感電事故防止による安全性の向上につながります。

電源を入れる・切る

本機及び接続したアンプの故障を防止するため、必ず以下の手順に添って操作して下さい。

1. 本機の電源を入れる

・本機及びメインアンプの電源が OFF になっていること、ボリュームが絞られていることを確認して下さい。
・本機のボリュームコントロール（④）を反時計回りに回し、ボリュームを絞って下さい。
・電源スイッチ（②）を上に倒し、電源を ON にします。
・パイロットランプ（①）が青く点灯することをご確認下さい。
本製品の特性上、電源を入れた後内部電流が安定するまで約 5 分間かかります。その間は音が出ない、音が歪む現象が発生しますが故障ではありません。
・電源を入れてから 5 分間、ボリュームコントロール（④）は反時計回りに回し、音量を絞っておいて下さい。

2. メインアンプの電源を入れる

メインアンプ電源スイッチ
例：SHP-5516M の場合

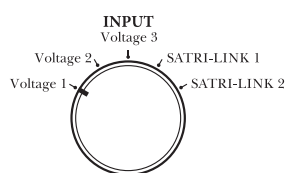
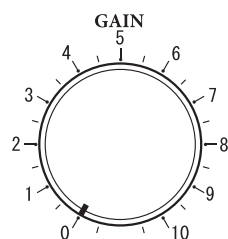
・本機の電源を ON にした後、接続しているメインアンプの電源を ON にします。その際、本機及びメインアンプのボリュームが最小値になっていることを今一度ご確認下さい。
※本機のボリュームが上がっている状態でメインアンプの電源を入れた場合、状況によってはアンプの保護回路が作動し、音が出なくなる場合があります。
メインアンプの電源については、各メインアンプの取扱説明書でご確認下さい

3. 本機及びメインアンプの電源を切る

・メインアンプの電源を切ります。
・次に本機の電源を切ります。

※本機及びメインアンプの故障を防ぐため、電源を入れる順番・電源を切る順番は必ず守って下さい。

音楽を聴く

ボリュームを調整する

・本機の入力端子に接続した機器（CD プレーヤー等）から音が出ていない（停止状態である）ことをご確認下さい。

・本機のボリュームコントロール（④）を反時計回りいっぱいに回し、ボリュームを０にして下さい。

・メインアンプのボリュームコントロールを調整し、スピーカーからノイズが聞こえない上限に合わせます。この状態がメインアンプの適切なボリュームポジションとなります。

・入力切り替えスイッチ（③）で本機に接続された機器を選択し、再生状態にします。

・本機のボリュームコントロール（④）を徐々に右へ回し、適切な音量に調節します。以降のボリューム調整はメインアンプ側では行わず、本機のボリュームコントロール（④）で行います。

ヘッドフォンを使用する

ヘッドフォン端子（⑤）には、6.3mm 径の標準プラグをもつヘッドフォンを接続できます。3.5mm 径のミニプラグをもったヘッドフォンをご使用になる場合は、市販のミニプラグ→標準プラグ変換アダプターをご使用下さい。

適合するヘッドフォンのインピーダンスは 4Ω～ 600Ωです。市販されている殆どのヘッドフォンが使用可能です。

※ ヘッドフォンを接続したまま電源を入れると、「ブーン」というハム音が発生する場合があります。

※ ヘッドフォンを接続しても背面端子からの音声出力はミュートされませんのでご注意下さい。

※ヘッドフォンのみを使用される場合は、メインアンプの電源を切ってお使い下さい。

※ ヘッドフォンを接続する際は、耳を痛めないためにボリュームを絞ってから接続して下さい

エージングについて

本製品に使われている有機半導体コンデンサは、本来の性能を発揮するまでにおよそ 100 時間の通電が必要とされています。そのため､本製品本来の音質を得るためにも 100 時間の通電が必要となります。これをエージングと呼んでいます。

エージングの方法は、電源を入れたままにしても、音楽を再生する間だけ電源を入れるだけでもどちらでも構いません。また、エージング中に音楽を鳴らし続ける必要もありません。

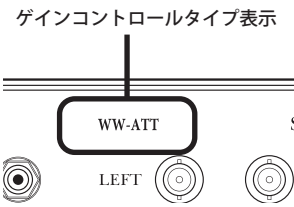
通算の通電時間が 100 時間となるのを目安にしてください。

※目安として、1 日当たり 2 時間だけ使用される場合は約 50 日、電源を入れたままでしたら約 5 日でエージングが完了する計算になります。

その他

お手入れについて

・本体が汚れた場合は、乾いた清潔な布で拭き取って下さい。シンナー・ベンジン・アルコール等は使用しないで下さい。塗装に痛みや変色が生じ、錆の原因になります。
・ボリュームコントロールは、数ヶ月に一度、数回左右いっぱいに回して下さい。これにより、ボリュームコントローラーの固着や錆び付きを防ぐことができます。

アッテネーターオプションについて

本製品は注文時のオプションでボリュームコントロールにアッテネーターをご選択頂けます。アッテネーターをご選択された場合、本体背面のゲインコントロールタイプ表示（⑧）にアッテネーターのタイプが表示されています。標準ボリュームの場合でも、アッテネーターへの交換サービスも承っておりますので、交換を希望される場合は弊社までご連絡下さい。
ご選択頂けるアッテネーターの種類と表示は以下の通りです。

表示なし	標準可変抵抗ボリューム
MF-ATT	金属皮膜抵抗アッテネーター
WW-ATT	無誘導巻線抵抗アッテネーター

※アッテネーターとはボリュームコントローラーの一種です。
通常の可変抵抗ボリュームよりもノイズが少なく、精密な音楽再生が可能になります。
アッテネーターに使用する抵抗器の種類によって音質にも違いが現れます。
金属皮膜抵抗アッテネーターではメリハリのある音が、無誘導巻線抵抗アッテネーターではより生音に近い、精度の高い音が得られます。

深夜・小さな音でもお楽しみ頂けます

弊社の SATRI アンプの特徴として、ボリュームの位置に関わらず S/N 比（音声信号とノイズの比率）が常に一定であることが挙げられます。
一般的なアンプではボリュームを絞り音量を小さくすると、音量に対して相対的にノイズレベルが上がり、音質に悪影響を与えてしまいます。しかし、SATRI アンプの場合は音量を絞れば絞っただけ、ノイズレベルも下がりますので音質が変わってしまうことがありません。
深夜など大きな音を出せない環境でも、小さな音でも心地よく音楽をお楽しみ頂けます。

それでは、PRE-7610MK3 で広がる新次元の音楽をお楽しみ下さい。

故障かな？と思ったら

本機の動作が正常ではないと感じられた場合、以下の項目をご確認下さい。
どの項目にも当てはまらない場合は故障している場合があります。その際はお買い上げの販売店、または弊社までご連絡下さい。

電源が入らない

・電源ケーブルが確実に本体及びコンセントに差し込まれているかご確認下さい。
・お使いの電源が電源電圧表示と一致しているかご確認下さい。

スピーカーから音が出ない

・スピーカーケーブルが確実にメインアンプ及びスピーカーに接続されているかご確認下さい。
・本機とメインアンプが確実に接続されているかご確認下さい。
・オーディオ入力端子と再生機器が確実に接続されているかご確認下さい。
・接続したオーディオ機器が再生状態になっているかご確認下さい。
・再生機器を接続したオーディオ入力端子が入力切り替えスイッチで選択されているかご確認下さい。
・ボリュームコントロールを回し、適切な音量に調整して下さい。

スピーカーからの音が歪んでいる・違和感がある

・電源を入れてから約 5 分間は電流が安定するまで音に歪みが生じます。ボリュームを絞り、しばらくお待ち下さい。
・スピーカーのプラス端子とマイナス端子が間違いなく接続されているかご確認下さい。

ボリュームコントローラー・入力切り替えスイッチのつまみが変色した

・ボリュームコントローラーつまみに使用しているベークライトという素材の特性で、永く使用しているうちにだんだんと色艶が出てきます。そのまま使用しても性能に影響はございません。

PRE-7610MK3 仕様

項目	仕様
出力	ステレオ電圧出力 1 系統（RCA ピンジャック）
	ステレオ SATRI-LINK 出力 1 系統
	ヘッドフォン 1 系統（6.3mm 標準フォンジャック）
入力	ステレオ電圧入力 3 系統（RCA ピンジャック）
	ステレオ SATRI-LINK 入力 2 系統
入力インピーダンス	100KΩ
寸法	78mm(H) x 235mm(W) x 295mm(D)
重量	2.9Kg
安全規格	PSE 規格

故障・修理・製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

本社	〒861-1112 熊本県合志市幾久富 1866-941
電話	(096)-249-2046（受付時間：祝日を除く月〜金 9:00 〜 18:00）
FAX	(096)-249-2045
Email	info@bakoon-products.com
Web サイト	http://bakoon-products.com/

購入店名：　　　　　　　　　　　　　電話（　　　　－　　　　－　　　　）

購入年月日：　　　　　　年　　　　月　　　　日